

復旧・復興に向け全力投球

◆ライフラインの状況

水道、電気等のライフラインについては、地震直後、一部ご不便をおかけしましたが、加美町は他の地域に先駆けてこれらライフラインの復旧が進み、町民生活の安全安心回復につながりました。

▼水道

水道については、停電により町内の一部地域で給水を行いました。全町的には地震直後から安定した供給を行いました。

▼電気

- ・地震直後に町内全域で停電。
- ・15日未明から上多田川、下多田川で通電
- ・15日夕、宮崎支所、小野田支所で通電
- ・16日未明、役場本所で通電
- ・17日夕、平柳、下狼塚が通電し、ほぼ全域で復旧
- ・19日夕、下新田下6戸が復旧し、町全域で電気復旧



地震発生から4日目、電気復旧のきざし(3/15)

▼電話

- ・地震直後から町内全域で不通
- ・電気の復旧により、15日以降、携帯電話の通話が一部可能に
- ・固定電話は、19日夕までに小野田、宮崎地区で復旧
- ・22日までに町内全域で復旧



大勢の人が訪れた携帯電話の充電サービス



◆災害対策本部の対応

3/11 第1回災害対策本部会議を中新田小体育館で開催。同日第2～5回会議において、被害状況把握と避難者対策

3/12～16 第6～18回 応急復旧対応と避難者対応、町民へのお知らせ、支援物資関係を協議。

3/17 第19・20回 沿岸部からの受け入れを検討。

3/18 第21・22回 沿岸部からの受け入れと救援物資、学校関係を協議。

3/19～28 第23～31回 支援物資、救援物資関係、住民バス対応等を協議。



左：町内をくまなく回り、区長さんたちに復旧への協力を依頼



右：安全安心な暮らしの実現を約束

◆避難者の状況

11日夜から町指定避難所や区の集会所に避難する方があり、13日午前7時で12か所、315人が避難。以後、徐々に減少し、19日中に町内の被災者の避難者は0になりました。



中新田福祉センターに100人が避難

未曾有の大災害となった「東北地方太平洋沖地震」。日を追うごとにその悲惨さが明らかになっていきます。町では、町民皆さんの生命・財産を守るため、いち早く災害対策本部を設置。全力を挙げて町民生活の一日も早い安定に取り組んでまいります。

◆被害状況

▼人的被害

- ・死者 0名
- ・行方不明者 0名
- ・軽症者 29名

▼家屋被害

- ・一般住宅(全壊) 4棟
- ・同(半壊) 4棟
- ・同(一部損壊) 82棟

※加美町での死者はありませんでしたが、町民1名が仙台市で死亡されました。

また、親戚、知人などが今回の地震の被害に遭われた方々、苦しい避難所生活を余儀なくされている方々などに対し、心からお見舞い申し上げます。



上：数々の支援物資は必要とする方々の手に
左：山形市商工会の皆さんが「いも煮」の炊き出し

◆支援物資の供給

①避難所への供給

- ・各避難所の食料として、供給
- ・今後、予定している交流センターへの食料等の供給

②行政区を通じた町民への配付

- ・3/14、各地区の旧町内の行政区にJA加美よつばからの野菜を配布
- ・3/18、行政区長さんを通じ乳児用粉ミルクを配布
- ・3/22、行政区に救援物資の配布（配付は行政区に一任）

③沿岸部の被災自治体への支援

加美町に贈られた救援物資の一部については、沿岸部の被害の状況から、被災地の自治体に救援物資として支援しています。また、要請のある物資については、町で手配できるものについては併せて支援をしています。



沿岸部からの避難者を励ます
(中新田公民館)

◆町外の被災地および被災者への支援

▼県を通じて沿岸部からの被災者受け入れを申し入れました。県では、避難者の意向調査のうえ決定します。

※中新田交流センターに300人程度の受け入れを予定

▼3/22、女川町に支援物資を搬送

▼3/27、南三陸町へグリーンツーリズム協議会を主に39人が救援物資の仕分け作業を応援

▼3/29、南三陸町での救援物資仕分け作業に10人派遣

▼石巻市と南相馬市の避難者15名を中新田公民館で受け入れ



田中晶子さん
(石巻市)

「3度の食事の心配もなく、保健師さんが親身になって相談に乗ってくれるのがありがたいです」

◆数々の支援に感謝

町との災害協定等に基づき、多くの団体・企業から食料品、生活用品など様々な物資を提供いただいています。（下記は提供された物資の一部です。このほか、個人からも多数支援をいただいております。後日紹介させていただきます。）（順不同、敬称略。3月28日現在）

これらの物資は、避難された方々への救援に活用させていただいたほか、一部は区長さんを通じて町民の皆さんに支給させていただきました。

- ・宮城県……………パン、即席めん等
- ・山形市及び山形市消防団…ミルク、おむつ等
- ・東北電力……………カイロ、手動式懐中電灯等
- ・JA加美よつば……………米、野菜、燃料等
- ・ヨークベニマル……………パン、ジュース、缶詰等
- ・イオンスーパーセンター…パン、ジュース、缶詰等
- ・ナカリ……………無洗米、餅、燃料等
- ・ケイテック……………乾電池
- ・仙台グリコ……………レトルト食品
- ・やくらいフーズ……………ジャム等
- ・タカノフーズ……………納豆
- ・ピクルスコーポレーション…きゅうり等の野菜
- ・猪股ふとん店……………組ふとん、毛布
- ・くらしの友……………ティッシュ、洗剤
- ・ジャパンローヤルゼリー…はちみつ等
- ・東北グリコ乳業……………健康飲料等

◆南三陸町に支援を申し入れ

刻一刻と震災被害の深刻さが明らかになってくる中、佐藤町長、一條議長、皆川県議が3月20日、救援物資（米）を持参して南三陸町を訪れ佐藤仁町長に支援の申し入れを行いました。南三陸町では、千人を超える町民の安否が分からず、1万人が今なお苦しい避難生活を続けています。



壊滅的な状況に言葉を失う

◆住民バスの運行も復旧

燃料不足が続くと見込まれたため一時休止していた住民バスについて、臨時ダイヤを編成し、運行を始めました。

3/16から…小野田線、宮崎線の運行を開始

3/28から…鳴瀬、広原地区のデマンドバスの運行を開始

4/1から…町全域でデマンドバスの運行を開始

※デマンドバスは便数を減らして運行しています。